

2022年2月22日

2021年度「多摩地域市民活動公募助成」事業実施報告書

団体名 NPO 法人 アマフエッショナル TAMA

代表者・役職名 氏名 代表理事 木村和雄

▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調をお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

1. 助成プロジェクト名

夏季「地域寺子屋 & 子ども食堂事業」

2. 団体の概要(創設の経緯、創設時期=法人で、法人化前に任意団体での活動がある場合、その段階からご記入ください。会員数など。180文字程度まで)

代表の長男は生まれながらの重度の障害を持ち現在もひとびとのかいごのなかで健康に過ごしています。高齢者、主婦、障害者の経験、知識、技術の再確認の場を設け地域で働くことを支援するために2008年にNPOを創設しました。

3. プロジェクトの目的とその背景(※応募申請書に記載のものでも可) 250文字程度まで

今、コロナ禍の中で子供の7人に1人が貧困と云われています。4年前から子ども食堂の運営に携わる中で食べることに同時に子供の成長に欠かせない学習支援を同時に実施することも目的としました。

4. プロジェクトの内容(※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のものでも可) 300文字程度まで

コロナ禍のために時期をずらして21年9月から12月の4か月間、週2回の寺子屋を実施しました。日曜日は新町文化センター、水曜日は自治会集会所で。対象は小画工高学年から中学生、講師は現役大学生を中心にドリルを使っでの学習支援、集会所では夜食を提供、

5. プロジェクトの実施で得られた「結果」(OUTPUT。実施回数や参加者数など)、「成果」(OUTCOME。事業によって生まれた直接的な変化)、「社会的な変化」(IMPACT。事業が社会に与えた影響)などの『効果』 300文字程度まで

ひとり親家庭子どもや不登校の子供たちが多く将来への希望を持ってない状況がありましたがこの期間を通じて学習の大切さ、友達が出来たり、大学生との会話の中であこがれを持つことが出来ました。また、見学者が多くありこの中から府中市のフリースクールなどから無料または低額での学習支援が集まり学習支援連絡会が立ち上がった。今後情報交換や地域への働きかけを行い、目的に活動する予定です子どもの学習支援と居場所づくりを

6. プロジェクト実施にあたっての課題、今後の展望など 300文字まで

このプロジェクトは継続すること、広く学習支援が広がる事が最も大切です。このため継続と目的を共有する団体が連絡会を通じて地域に働きかけることを実施してゆきたい。「未来を支える子どもたち彼らに最大の関心を持つ」を合言葉に進めます。

7. 参考資料:プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等の現物またはコピー、活動状況の写真などを、「必ず」、別途、ご提供ください。



10月20日(水)
時間割
16:00~17:00 宿題自習
17:00~18:00 教習
18:00~19:00 休
19:30~20:00 教習自習

真和苑
公報助成事業

お知らせ
お知らせ
お知らせ
お知らせ
お知らせ